

生体信号処理特論

近年、Deep learningやAIが医療データ解析においても注目されているが、これらは、数十年前の技術から何も変わっていない。そして、現在も機械学習すべきデータのラベリングはヒトの作業である。そこで、機械学習やAIに必要な定性的な情報（感情など）や複雑な生体信号を工学として処理するための主観の計測手法や主観と生体信号や生理機能との関係を学び、音声からの感情認識の基礎と、音声からの病態分析の基礎を理解する。